



## （一社）日本自動車部品工業会と素形材団体の懇談会を開催

11月30日（木）

平成29年11月30日（木）、一般社団法人日本自動車部品工業会（以下「部工会」）調達・生産部会と素形材関連団体首脳の懇談会を日本自動車会館くるまプラザ会議室で開催しました。前回の28年11月1日開催に続いての開催となります。

この懇談会は「素形材関係団体のトップと部工会の調達・生産部会メンバーが懇談することで、相互理解を深める」との趣旨により、一般社団法人日本自動車工業会との懇談会とあわせて開催してきた経緯があります。素形材産業界が概ね7割の需要を占めるユーザー業界と一堂に会し、相互に経営面、技術面の課題を披露することで、将来に向けて建設的な関係が深まることが期待されています。

懇談会は、大下政司 部工会副会長専務理事の開会挨拶後、部工会調達・生産部会 春田 力部会長（㈱ヨロズ常務執行役員）の代表挨拶があり、その後懇談に入りました。最初に、部工会から取引適正化のフォローアップや取組みの状況について説明が行われました。次に、素形材団体側として板谷憲次 素形材センター副会長専務理事から素形材産業の現状について説明が行われました。また、要望として素形材産業の取引適正化に向けた推進のため具体的な取組みとして来年実施する「型管理アクションプランセミナー」の開催の場で、Tire1の廃盤通知の徹底と廃棄確認の取組み事例について説明をいただきたい旨、協力要請が行われました。その後、

杉本 潤（一社）日本ダイカスト協会会長、高木龍一（一社）日本金属プレス工業協会会長、松永昭博（一社）日本鑄造協会副会長が急遽ご欠席のため同協会の角田悦啓 専務理事、原 敏城（一社）日本金属熱処理工業会会長、菊池 勇 日本粉末冶金工業会会長、小出 悟（一社）日本金型工業会副会長から順次、各業界を取り巻く状況と取引適正化のフォローアップや取組みの状況について説明が行われました。

懇談会の最後に、大下部工会副会長専務理事、春田 部工会調達・生産部会長から、そして板谷素形材センター副会長専務理事から取引適正化を前に進めるために引き続きコミュニケーションを取ることが大事との発言があり、この懇談会を継続開催していくことが確認されました。

この懇談会の継続的な開催を通じて、取引ガイドラインが遵守されるとともに、素形材産業自身が「世界に勝てる技術力を持つ」ことや「仕事の幅を広げて、付加価値を高める」ことを追求し、ユーザー産業との関係では、「健全な取引慣行で強靱なサプライチェーンを作る」ためのより強固な関係を構築することができ、自動車産業とその裾野に当たる素形材産業が未来志向の強固な連携により、今後の国際競争力の強化に資する部品供給体制の再構築、あるいは個々の取引において有効に働くことが期待されます。



懇談会に臨む素形材産業のメンバー



懇談会の部工会のメンバー